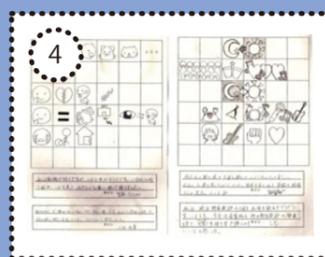
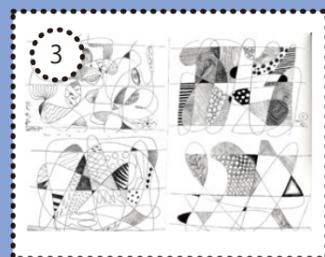
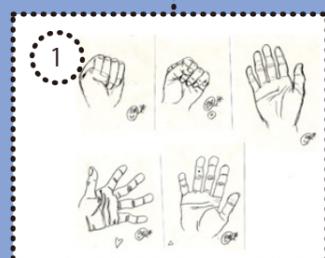


授業紹介

初等図画工作

1年生の後期に開講される必修科目です。小学校の教員として図画工作科の学習を支援するために必要な、造形に関する基本的な考え方や基礎技術の習得を図るとともに、大学生としての教養を深めたり、美術の楽しさにふれることを目的としています。以下に、15回の授業内容を紹介します。

- 初等図画工作
- 授業内容
- 参考図



- ①ドローイングー いろいろな方法で自分の手を描きます。
- ②イメージの表出と共感ー 「怒り」や「喜び」などのイメージを表現し、互いの作品を比較しながら共通点を探ります。
- ③ビジュアルコミュニケーションー 「絵文字」をつくり、他者に理解してもらえるかどうかを試してみます。
- ④イメージの生成と表現ー 「抽象画」と「シュールな絵」に挑戦します。
- ⑤素材と構造（紙工作の基礎）ー 一枚の画用紙で種類の紙工作を楽しみます。
- ⑥「風・空気」の表現ー デジカメで「風・空気」を撮影します。
- ⑦写真で遊ぶー 写真のトリックを使って「心靈写真」などを撮影します。
- ⑧行為の記録（パフォーマンスアート）ー 「非日常的な行為」を楽しみます。
- ⑨芸術と環境（パブリックアート）ー 「もしも学食前の広場に、モニュメントを立てるとしたら」というテーマで完成予想図を描きます。
- ⑩プレゼンテーションの技法ー ⑥～⑧の授業で撮影した作品をレイアウトします。
- ⑪切込みにより立ち上がる立体ー 二つ折りの紙に切り込みを入れ、立ちあがる美しい立体構造を工夫します。
- ⑫塑像表現ー 自分の手を油粘土で表現します。
- ⑬表現の発達の側面と心理投影ー 「子どもの絵の意味」について考えます。
- ⑭空間把握と再現描写ー 「遠近法」について考えたのち、箱のデッサンをします。
- ⑮美術史から学ぶー 「美術の楽しみ方」について考えます。



授業紹介

初等図画工作科授業研究

図画工作科の授業の場面としてどんなことを思い浮かべますか？絵を描くことでしょうか。学習指導要領という国が定めている約束事があり、そこには、いろいろな内容が含まれています。その内容に合った授業を実現するための教師としてのスキルの向上が必要です。しかし、国の定めは10年程度で変更されます。新しい授業の構想力を身につけることもまた重要です。そのため、この授業では美術制作の専門の先生が、受講者の基本スキルの向上をはかるとともに、独自のアイデアで、楽しい表現鑑賞活動の指導をします。それらをふまえ、図画工作科での「授業力」と「授業構想力」向上の方策について考え合います。

- 初等図画工作科授業研究
- 演習作品
- 



題材開発演習（工芸）

題材開発演習（構成・デザイン）

題材開発演習（彫刻）

鑑賞学習題材開発（図工科教育）

